

諸管ハ機関仕様書ニアル蒸汽「ポンプ」ト連絡スベシ

「ビハヂサンクシヨン」管ハ鑄鐵トシ末端ハ鉛製トス。「バルヴ」「コック」等ヲ完備スベシ

五十五、換氣及通風

船尾楼中ノ士官室浴室及便所等ハ眞鍮製「ムシルームヴェン

チユーター」径十吋ノモノヲ適當ニ取付ケ學生室ハ煙突覆

ヲ通スルカ若クハ他ノ適當ナル寸法ニヨリ換氣法ヲ行フベキモノトス。

水火夫室及前部艙内諸艙庫ハ「カウル」通風器若クハ他

ノ適當ナル通風器ヲ設クベシ

五十六、揚錨機

船首楼中ニ「クラークチャブマン」會社製造若クハ監督者

ノ適當ト認ムル蒸汽揚錨機一基ヲ備ヘ本船所載ノ

錨を揚クルニ充分ナルベキハ勿論鯨肉引揚ゲニ際シ「テークル」

ニヨリ約五噸ノ重量アル肉ヲ捲揚クルニ適當ナル大サ及力

ヲ有スベシ。「カプスタン」ハ揚錨機ニ連絡スレドモ又之ヲ獨立ニ

使用スルタメ梶製棒六本及其棒差板ヲ設ク可シ。

「バウコンプレッサー」「タンブラー」等ヲ適當ノ位置ニ於テ固着スベシ

五十七、「アンカーベット」